

<熊毛地区社会教育主要事業実績>

月	日	曜	事業名	会場	出席者数
5	20	土	地区子ども会指導者・育成者研修会 地区リーダー研修会・安全教育講習会	屋久島町役場	31人 26人
5	31	水	地区人権教育ブロック別指導者研修会 地区社会教育指導者研修会（PTA・女性団体・高齢者団体）、地区社会教育委員等研修会 及び自治公民館経営研究会	屋久島離島開発総合センター	136人 43人
6	4	日	地区子ども会指導者・育成者研修会 地区子ども会安全教育研修会	西之表市勤労青少年ホーム	23人 19人
6	24	土	地区社会教育指導者研修会（青年団体）～25日	南種子町自然の家	21人
7	11	火	地区文化財保護審議会委員等研修会	南種子町研修センター	33人
8	28	月	地区子ども会大会・創作活動大会 ～29日	あっぱ～らんど	31人
12	2	土	県PTA活動研究委嘱公開（国上小・住吉小）	西之表市民会館	324人
12	9	土	地区子ども会ジュニア・リーダー養成研修	中種子町立中央公民館	29人

熊毛地区社会教育振興会では、地域・家庭・学校・行政・関係機関等の連携が更に深まり、熊毛地区の社会教育がますます充実・発展することを願って、リーフレット「熊毛の社会教育」を作成しています。ぜひ御一読いただき、本地区の社会教育の更なる充実・発展に御理解と御協力をお願いします。

一・二ページには、地区主要行事が、三・六ページには、一市三町の特色ある事業等が掲載してあります。

熊毛の社会教育

令和六年二月発行
熊毛地区社会教育振興会

子ども会指導者・育成者研修会
子ども会安全教育研修会
（リーダー研修会・安全教育講習会）

屋久島会場 令和五年五月二十日（土）屋久島町役場（五十七人）
種子島会場 令和五年六月四日（日）勤労青少年ホーム（四十二人）

屋久島会場は、四年ぶりの開催となりました。両会場とも多くの子ども会関係者が参加し、子ども会でのそれぞれの役割や身の回りの危険について考えたり、参加者同士の交流を深めたりすることができました。指導者・育成者からは、「講義を受け、子ども会活動に対する意識が変わった」「子供たちの主体性を大事にしながらかつ活動していきたい」という感想が多く出されました。

屋久島会場【研修】
「子ども会って何をするの？」種子島会場【安全教室】
「正しい応急処置について」人権教育ブロック別指導者研修会
社会教育指導者研修会（PTA・女性団体・高齢者団体）
社会教育委員等研修会及び自治公民館経営研究会

令和五年五月三十一日（水）
屋久島離島開発総合センター（計百三十六人）

人権教育ブロック別指導者研修会では、県男女共同参画局人権同和対策課の常深透氏に「誰もが幸せに生きるために」をテーマに心温まる

【フィールドワーク】



- 熊毛地区の自然環境について学ぶよい機会となった。
- 海岸清掃や地域のごみ拾い、団員増加のための声かけなどに、今後積極的に取り組んでいきたい。
- 各市町の青年団の多岐に渡る活動を知り、自分たちの活動に取り入れたいと思った。

令和五年六月二十四日（土）～二十五日（日）
南種子町自然の家（二十一人）

「ビーチコミングを通して海洋漂流物や環境問題について考える」と題し、漂流物学会会員の住岡重寛氏（中種子町在住）を講師に、講義やフィールドワークをしていただきました。その後も、各市町青年団活動報告や野外炊飯、情報交換会と参加者同士が交流を深め、大いに盛り上がりました。

社会教育指導者研修会（青年団体）

【講演】



「だーい好き！」の気持ちをこめてあいさつを！
「私こそ」「あなたこそ」が必要な存在です。



【研究協議】

講演をしていただき、性的指向・性自認等について理解を深めました。午後の研修では、市PTA連絡協議会の松田会長に「PTAの在り方と課題」について発表していただき、その発表を受け、出席者同士で地域学校活動や日頃の活動について研究協議を行いました。各団体の活動の減少や会員同士の繋がり希薄化が課題となっており、コロナ禍でできなかった活動や、三年分業しく笑って思い出し、充実した研修となりました。

文化財保護審議会委員等研修会

令和五年七月十一日（火）
南種子町研修センター（三十三人）

県教育庁文化財課の横手浩二郎主任文化財主事兼係長に指導講話をしていただき、県文化財保存活用大綱に基づく各種取組について研修を深めました。研究協議では、西之表市文化財保護審議会の岩下真奈美委員に、「郷土の文化財の保存と活用の在り方」と題し、主に地区内の登録有形文化財の登録の流れや活用について事例発表をしていただきました。「登録についての説明が大変分かりやすかった」「有形文化財のみならず、あらゆる文化財の保存・活用のための参考になった」と非常に好評でした。最後に現地視察に出掛け、



【現地視察（横峯遺跡）】

南種子町教育委員会の小脇有希乃文化係長に横峯遺跡、宮松原神社、上妻城址を案内していただき、実りある研修となりました。

子ども会大会・創作活動大会

令和五年八月二十八日（月）～二十九日（火）
あっぱらんど多目的交流館「ふれあい」（三十一人）

本大会は、四年ぶりに宿泊を伴う日程で開催することができました。参加者は、開会後すぐは不安そうな面持ちでしたが、オリエンテーションや話し合い活動を通して徐々に緊張が解けた様子でした。シーカヤック体験や貝殻ハーバリウム作りは、中学生の班長が中心となって下級生をリードし、KYT（危険予知トレーニング）で学んだことを生かしながら安全に楽しく活動を行うことができました。小学二年生から中学

【夕食後の片付け】



- ・ たくさんの友達ができて嬉しい。
- ・ この大会で学んだことを自分たちの子ども会活動に生かしたい。
- ・ 下級生をまとめるのに苦労したが、たくさんの思い出ができた。
- ・ コミュニケーションやチームワークの大切さを学んだ。
- ・ これまで気付かなかった自然に触れることができた。

三年生までの異年齢で様々な班活動を体験し、学びの多い二日間になりました。

子ども会ジュニア・リーダー養成研修

令和五年十二月九日（土）
中種子町立中央公民館（二十九人）

最初は緊張した様子のジュニア・リーダーたちでしたが、オリエンテーションやレクリエーションを通して次第に打ち解け、活発な交流が図られました。「KYTの実際」や各団体の活動発表では、自分の意見を分かりやすく伝えることや、他者の意見をよく聞いて視野を広げることができました。午後のボッチャでは、グループ内で作戦を立てたり、違うグループの上手なプレーに思わず拍手をしたりして、勝敗に関わらず楽しんでる姿が印象的でした。昨年度に引き続き参加したジュニア・リーダーからは、

「前回の研修で得られた友達との仲をもう一度深めることができ嬉しい」という感想がありました。今後参加者同士や団体間の交流が続いていくことを願っています。



【研修「KYTの実際」】

受賞おめでとうございます

令和五年度各種表彰

※敬称略

- ◆ 子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
中種子町立油久小学校
- ◆ 日本PTA全国協議会表彰
屋久島町立宮浦小学校PTA
- ◆ 松田 学
山浦 拓己
(西之表市)
(中種子町)
- ◆ 全国子ども会連合会表彰
丸田 健次
(西之表市)
- ◆ 県優良青少年団体及び地域高校生クラブ等表彰
南種子町ジュニア・リーダークラブ「コスモス」
旭町子ども会
(屋久島町)
- ◆ 県子ども会育成連絡協議会表彰
上妻 初生
竹屋野育成会
(西之表市)
(中種子町)
- ◆ 下中地区公民館青少年育成部
(南種子町)
- ◆ 熊毛地区子ども会育成連絡協議会表彰
川迎（小）子ども会育成会
(西之表市)
長田 英幸
(南種子町)
- ◆ 熊毛地区社会教育関係優良団体及び個人表彰
読書ボランティアサークル「おひさまスマイル」
(西之表市)
- ◆ 吉原 三保子
小山 岳富
丸山 健
(西之表市)
(南種子町)
(屋久島町)

編集・発行

熊毛地区社会教育振興会事務局

住所 西之表市西之表七五九〇番地

熊毛教育事務所内

電話 (〇九九七) 二二一〇五三五
FAX (〇九九七) 二二一〇五二一

西之表市

まなびの輪
にしのおもて

「波濤を超え、全国どこでもたくましく生き抜くことのできる力を備えた人間育成」、「郷土振興に情熱を燃やし、郷土興しの原動力たり得る人間育成」をスローガンとし、「ひとりだちの教育」を本市教育の基本理念としています。

ふるさとまなび隊

「ふるさとまなび隊」は市内の小学三年生から小学六年生を対象とし、様々な体験学習を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することによって豊かな人間関係や規範意識、社会性を養うことを目的としています。

令和五年度は、年間八回の活動を計画し、募集定員については、新型コロナウイルス感染症が第五類へ移行したこともあり、前年度の二十人から三十人に戻して活動を実施しています。

六月の仲間づくりレクリエーションに始まり、七月は西之表市南部の安城・立山・中割・古田の文化財を巡る校区探検バスツアー、九月には国指定天然記念物の国上湊川マングローブ林（メヒルギ）を川下りするカヌー・いかだ体験を実施しました。また、十月は竹鉄砲づくりなどの昔遊び、十一月は野外炊飯でカレー作り、十二月は夜の鉄砲館で



カヌー・いかだ体験

充実した図書館活動

図書館活動の充実と市民の読書意欲が向上することを目指し、様々な取組を実施しています。

楽しい読書活動の推進

以前より運行されていた移動図書館車「あおぞら二号」の老朽化に伴い、令和三年度に永寶株式会社様からいただいた寄附金を活用して、今年度は、新たに「あおぞら三号」を購入しました。新しく購入した移動図書館車は、軽トラック型であり、積載できる本の数は以前より減少するものの、小回りが利き、様々な場所へ巡回できるようになりました。

また、市立図書館では、図書館で借りた本の履歴を、銀行の通帳のように記録できる「図書通帳」の運用を始めました。通帳には、借りた日、本のタイトル、著者名などを印字す



移動図書館車「あおぞら3号」

ることができ、楽しい読書活動の一つとして活用することが出来ます。

ブックコンシェルジュ養成講座

図書館業務の体験や豆本製作、読み聞かせの実践等を通して、学校図書における読書活動の推進を図るために、令和三年度からブックコンシェルジュ養成講座を開講しています。

例年、市内の小学校高学年の児童・中学校の生徒及び学校司書を対象に、二日間の日程で行われ、今年は小学生五人、学校司書四人の計九人が参加し、講座終了後、ブックコンシェルジュとして認定されました。参加者からは、「今回習ったことをボランティアなどに活かしていきたい」や「この講座を通して、今までよりも本のが好きになった」などの感想がありました。



読み聞かせの実践

図書館職員等研修会

十二月十一日、市立図書館で鹿児島県図書館協会熊毛支部の図書館職員等研修会を開催しました。熊毛の各市町から多くの図書館関係者が来館し、館内の見学や小山田館長による講話、各市町の公共図書館及び学校図書館の現状と課題について情報交換・グループ協議を行いました。

情報交換・グループ協議では、魅力ある図書館づくりのための取組やアイデアなどを共有し、選書から防犯・災害対策にいたるまで様々な課題について語り合い、図書館に携わる者同士の有意義な交流の場とすることができました。



グループ協議の様子

県PTA活動研究委嘱公開
熊毛大会

十二月二日、市民会館において、種子島高等学校吹奏楽部の華やかな演奏で開幕し、国上小学校と住吉小学校の二校同時開催となる活動研究発表が行われました。それぞれの研究主題に対して、これまでの様々な取組成果が発表されました。

MDS（マキオドライブイングスクール）代表取締役の牧尾正臣氏による講演では、御自身の荒波をくぐり抜けた人生や、子供たちへの和太鼓演奏の指導などによる様々な経験をを通して、子供たちに「たくましく生きる力」を身に付けさせる教育についてお話しいただきました。

また、牧尾氏



牧尾氏による講演

中種子町



風立のまち なかつたね

「種子島縦断！親子ふれあいウォーク2023」

「種子島縦断！親子ふれあいウォーク2023」を五月二十七日・二十八日に開催しました。一日目の二十七日は、かごしま国体デモンストレーションスポーツのウォーキングとして行われ、二日間で小・中学生とその保護者四十八人が参加しました。

一日目は、天候に恵まれ歩きやすい気候の中、西之表港から種子島中央体育館までのコースを歩きました。

二日目は、雨が少々降る中、種子島中央体育館から宇宙センターへ向けてスタートし、大きく天候も崩れることなく青年団のお兄さんたちと一緒にゴールし、「また参加したい」と歩ききった達成感に笑みを浮かべていました。



親子ふれあいウォーク2023

夏休み特別企画展 「資料館×AIイラスト展」

七月二十二日から九月十日までの期間、町立歴史民俗資料館において、最新技術であるAI（人工知能）が作成した種子島の偉人や歴史・伝説などのイラスト二百点以上を展示した企画展「資料館×AIイラスト展」を開催しました。鉄砲伝来で有名な第十四代島主である種子島時堯を始め、歴代島主や五十以上のキャラクターを展示。イラストは、缶バッジとキーホルダーにして販売しました。

また、期間中の日曜日には、共催の木下勝氏にAIイラスト作成の体験会を実施し、子供から大人まで七十六人の方が、自身が想い描くものをAIにイラスト化してもらい、最新技術のす



AIイラスト体験会

ごさや面白さを体験しました。完成した作品はポスターと缶バッジにして贈呈し、体験者は大変喜んでる様子でした。

熊毛地区初であった今回の企画展には、島内外から三百七十六人が来場され、大変好評でした。来年度も第二弾の開催を案中です。



生涯学習県民大学講座 家庭教育学級合同研修会

十二月一日に中種子町立中央公民館大ホールにおいて、生涯学習県民大学講座を開催しました。

昼の部は、筑波大学体育系の松元剛准教授を講師に迎え、「誰もが、気軽に、参加できるスポーツ指導の在り方」を共生社会の実現に向けて」と題して講演があり、二十六人が参加しました。共生の視点からゲームルールを工夫し、誰でも取り組むことができるチームスポーツについて話され、参加者全員で安全ボールを使って簡単なゲームを行いました。

夜の部は、町家庭教育学級合同研修会と合同開催し、作家の倉橋燿子先生に「子供たちの中には限らない可能性が眠っている」と題して講演していた



生涯学習県民講座「夜の部」



生涯学習県民講座「昼の部」

できました。町内の家庭教育学級生やPTA会員六十七人が出席し、先生御自身の体験や子育て経験、執筆活動、著書などを通して、子供との向き合い方、可能性を信じ、一人の人間として尊重することなど、子供との関わり方について考える良い機会となりました。

南種子町

心ふれあうまちづくり 南種子町



南種子町生涯学習講座

「生きがいとぬくもりに満ちた
まちづくりを目指して」

南種子町では、みなみたね町民大学を設置しており、町民の皆様幅広い学習の機会や趣味を広げる場を提供し、生きがいとぬくもりに満ちたまちづくりを進めることを目的に中央講座である生涯学習講座を開講しています。

今年度は、十三講座を開設し、各講座年間八〜十回程度で講座を行っております。また、講座での学習の成果は、二月二十五日(日)に開催予定の「第四十回南種子町生涯学習大会」において展示ステージで発表することとしています。

【子どもプログラミング講座】

考える力を養うことを目的として開講しています。小学四〜六年生を対象に募集を行い、今年度は六人を講座生として決定し、講座を行っています。

講師は、町内でIT関連の事業をされている方をお願いし、場所の提供からパソコン等の学習機材の準備まで行っていたいただいております。子供たちは、プログラミング「スクラッチ」を学びながら、自作のゲームを作成するなど、毎回の講座を楽しんで学習しています。



子どもプログラミング講座

種子島自然塾
「西海岸探検&秋を味わう会」

【種子島自然塾】
身近にあるけれど意外と知らない種子島の豊かな自然を、広く深く学ぶ講座です。大人を対象に募集を行い、多数の申込みの中から十人を講座生として決定し、講座を行っています。

講師と一緒に山や海岸を探索しながら、薬草や有用植物を見つけ、その多岐にわたる利用法を学ぶなど、種子島の自然の恵みを再発見できる内容となっております。毎年大人気の講座です。

南種子町おはなし子ども会
「第五十三回野間読書推進賞 受賞」

公益社団法人読書推進運動協議会が実施する第五十三回野間読書推進賞において、読み聞かせボランティアグループの南種子町おはなし子ども会が団体の部を受賞しました。

十一月二日(木)には、東京都にて贈呈式が行われ、賞の授与と併せて、これまでの活動成果発表も行いました。おはなし子ども会は、一九九四年に発足し、「地域の子供たちがより豊かな想像力を持つこと、健やかに成長すること」を願って、例年十人程のメンバーで現在まで活動を続けています。

主な活動は、毎月一回の「おはなしの時間」や学校等へ出向いて読み聞かせを行う「おはなし宅配便」、町生涯学習講座の一つとして行う「親子読書講座」などです。

転勤・移住世帯が多い本町において、おはなし子ども会の活動がコミュニティへの入口ともなっており、子供・学校・地域を読書運動でつなぐ存在として、今後益々の活躍が期待されています。



贈呈式の様子

文化芸術講座
「子供たちにプロ演奏家が指導」

「ここはもつと歌い込んで！」
熱意ある指導の音が、六月の南種子中学校に響きます。南種子町出身でプロのチューバ奏者として活躍されている石堂優二郎氏の声です。

南種子町では、一流の芸術文化に触れる機会が少ない離島の現状を踏まえ、子供たちにプロの演奏家の指導の機会を提供する「文化芸術講座」を実施しています。令和三年から令和五年の三年間、石堂氏による楽器指導を実施し、南種子中学校吹奏楽部と中平小学校金管バンドの児童・生徒が参加しました。

一つ一つの楽器の演奏技法や、自分たちで続けられる練習方法などについて多くの丁寧なアドバイスを送られ、子供たちの楽器練習にも熱が入ります。

令和五年夏に開催された第六十八回鹿児島県吹奏楽コンクールでは、南種子中学校が見事金賞を受賞しました。今後も、児童・生徒の活躍が期待されます。



指導の様子

屋久島町

生き生き キラキラ 元気あふれる 屋久島町

子供たちの笑顔がいっぱい
子ども劇場開催

六月十九日(月)、二十日(火)に尾之間保健センター、宮之浦公民館で子ども劇場を開催しました。IFYプロジェクトによる『ンビリの王子、旅にでる』という音楽劇です。「ン」がつく言葉は何でも「ン」から始める(パ نداは「ンダ」、インドゾウは「ンドゾウ」など)というユニークな設定で、ライオンの王子や八百屋のゾウ、中華料理店のパンダなど、たくさん動物による歌と楽器の演奏に園児たちは喜んでいました。

今回は、四年ぶりに午前・午後の二部制で開催し、多くの子供たちや保護者の方々が来場されました。会場に笑顔があふれ、楽しいひとときとなりました。



↑「三人の俳優さんが来島」



↑「演技に見入る子供たち」

異年齢の仲間とともに
六年ぶりの子ども会菊陽町訪問

八月十六日(水)から十九日(土)の三泊四日で、屋久島町子ども会の小・中学生二十人が、姉妹都市の熊本県菊陽町を訪問しました。台風や感染症の影響で六年ぶりとなった訪問ですが、子供たちは、体験を通して多くの学びを得ることができました。

熊本城や菊陽町の文化財である「鼻ぐり井手(用水路)」を見学し、そのスケールの大きさに感動したり、菊陽町の子供たちとの交流を通して親睦を深めたりと、あつという間の四日間でした。

学校も年齢も違う子供たちは、初めのうちは緊張気味でしたが、日が経つにつれて仲良くなり、最終日の菊陽町から鹿児島への帰りのバス内では、みんな歌を大合唱。すっかり仲良くなつた子供たちは、帰島後も連絡を取り合ったり、町内へ出てきたときに声を掛け合ったりと、交流を継続しているようです。



【鼻ぐり井手の見学】

三年ぶりの開催
ふるさとを興す
熊毛地区保健・福祉学習大会

この経験を今後の子ども会活動につなげていってほしいと思います。

十一月四日(土)に、屋久島町役場やくしまホールで、ふるさとを興す熊毛地区保健・福祉学習大会を開催しました。「健康で明るい地域づくりをめざして」すべての人が楽しく生活できる社会を」というテーマのもと、実技や講演を行いました。

実技では、町スポーツ推進委員長の水田和子さんが、屋久島町民歌体操を指導されました。この体操は、本町スポーツ推進委員の方々が中心となり作成したもので、本年度の町民体育祭でも準備運動として行われました。

講演では、本町在住でカレイドスコープ代表の杉下真絹子さんに「森を通して新しい健康づくり」と題して、屋久島の自然を生かした森林浴を通じた健康づくりについてお話しいただきました。

本町の女性団体連絡協議会が企画から当日の運営まで行い、充実した学びの深い大会となりました。



【町民歌体操の指導】



【オンライン講演の様子】

第三十八回
シドツチ神父上陸記念祭

十一月二十三日(木)、シドツチ神父上陸記念祭を屋久島町小島の上陸記念碑前に行いました。この式典は、シドツチ神父が国にもたらした功績を称え、毎年実施されています。

ジョバンニ・バティスタ・シドツチは、一七〇八年、屋久島に上陸した宣教師です。当時の日本ではキリスト教を弾圧していたため、上陸後すぐに捕らえられ、江戸に護送・収容され、その後獄死しました。シドツチは収容中に儒学者・新井白石によって尋問を受け、白石は尋問で得た情報をもとに「西洋紀聞」「采覧異言」を著し、これらがその後

の幕政に
おける禁
書の緩和
や洋学の
発展など
に寄与し
たと言わ
れています。

【カトリック鹿児島司教区
教区長のあいさつ】